

教育委員会だより -学(まなぶ)-

6月号

交通死亡事故「0」

竹内博之教育委員

今年になって、交通死亡事故が急増しています。中でも児童・生徒と高齢者の件数が非常に多く、より一層の注意が必要になります。

注意すべき点が多々ありますが、一部を挙げたいと思います。

- ① 交通ルールを守る（残念ながら守っていても遭遇してしまう場合もあります）
- ② 走らない、飛び出さない（車は急には止まれない）
- ③ 道路、駐車場では遊ばない
- ④ 横断歩道は手を上げ右左右を確認して渡る（スピードを上げて通り抜ける事もあります）

保護者の方へのお願い

どこに危険なところが潜んでいるのかわかりません。是非行っていただきたい事があります。我が子と一緒に通学路を登校時間に合わせて歩いて見てください。途中の交差点などでは、膝を突き、子どもの目の高さで左右を確認し、気になる所、気が付いた事などがあれば、学校に具体的に知らせてください。風雨の強い日、寒暖の差がはげしい時なども見て下さい。

行政側へのお願い

道路・歩道の拡幅・整備、ゾーン30地区の増設、スピードが出にくい道路表面に凹凸を作る（ハンプ）の増設・信号機の設置などです。

自分の身は自分で守る